

表現BOX 16 後置修飾 — 名詞を後ろから修飾する形

修飾語句の配置は英語と日本語では大きく異なる。日本語は以下の例のように、すべての修飾語句が修飾される名詞の前に置かれる言葉である。

- ① 解けてゆく雪の写真
- ② 昨夜私たちが聴いた曲
- ③ 町の中心にある教会
- ④ 寝る前に読む本

これらを英語で表現すると、以下のように修飾語句の位置が異なる場合が多い。

- ① a picture of the melting snow.
- ② the song which [that] we listened to last night
- ③ the church located in the center of the city
- ④ a book to read before going to bed

①のように、形容詞や分詞が単独で名詞を修飾する場合は、修飾語句は日本語と同じように名詞の前に置かれるが、それ以外は名詞の後ろに置かれる。このように、まとまった長さの修飾語句が後ろから前の名詞を修飾する形を、後置修飾と呼ぶ。名詞を修飾する働きを持つのは形容詞であるため、文法的にはこれらの語句は形容詞句、形容詞節と呼ばれる。この章で学んだ関係代名詞や関係副詞はまさしく後置修飾の典型的な形である。後置修飾のパターンを整理してみよう。

- A. 形容詞(他の修飾語を伴う場合)
a book **useful to English learners** (英語学習者に役立つ本)
- B. 現在分詞、過去分詞(他の修飾語を伴う場合)(上記の③)
the man **standing by the gate** (門のそばに立っている男性)
- C. to不定詞(形容詞的用法)(上記の④)
three children **to take care of** (面倒を見なければならない3人の子ども)
- D. 関係代名詞、関係副詞(上記の②)
the station **where I saw him** (彼を見かけた駅)

第12章 接続詞

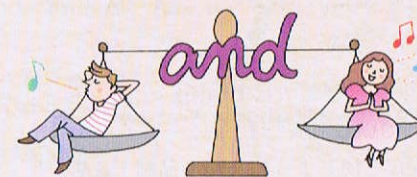
イメージをつかもう

つながりの言葉「接続詞」

「接続詞」とは、読んで字のごとく、「語と語、句と句、そして節と節をつなぐ、接着剤の働きをする品詞」のことです。ただし、接続詞は語と節など、異なる種類の要素をつなぐことはありません。この章では「つながりの言葉」である接続詞について学習しますが、一口につなぐといっても、何と何をつなぐのか、どういった関係でつなぐのかがポイントになります。

対等な関係でつなぐ

Jack **and** Jill (ジャックとジル)
an expensive dress **and** a cheap T-shirt (高価なドレスと安価なTシャツ)
I sang **and** he whistled. (私はうたい、彼は口笛を吹いた)



接続詞の and は語句や節などをつなぐ働きをします。この場合、2つの語句、節は同じウエイトを占め、対等な関係にあると言えます。

主従の関係でつなぐ

次の文では、when で2つの節がつながっています。でも、この場合、文の中心になるのは I was watching TV のほうで、when Tom called me はそれを修飾しています。中心になる節を「主節」、それを修飾している節を「従属節」と言います。

I was watching TV **when** Tom called me.
主節 従属節
(トムが私に電話したとき、私はテレビを見ていた)

接続詞 when と疑問詞 when

接続詞の when は「～するとき」の意味で、従属節を導きます。でも, when は「～するとき」だけではありません。when は疑問文で「いつ?」の意味でも使われます。接続詞の when も疑問詞の when も、どちらも時を表す言葉であることは共通しています。前ページの例文も、

I was watching TV when he called me.
私はテレビを見ていた →いつかと言うとそれは 彼が電話したとき

と考えることができます。

接続詞 that

that も when と同じく、従属節を導きます。

I think that he is a great singer. (S+V+O)
主節 従属節
(彼は素晴らしい歌手だと思う)



ここでは、文の中心となるのは I think で、he is a great singer は大きな文の一部として従属している関係です。

この that も when と同じように、別の品詞・意味でよく使われます。中学で習った指示代名詞の that です。接続詞の that(～すること)も「あれ」「それ」の意味から発展したと考えることができます。

I think thatshe is kind.
私は思う あれを あれというのは→彼女は親切であるということ
(私は彼女は親切だと思う)

「私は思う」に続いて、その思う内容を指し示しているのが that です。このように考えて、前から順に意味をとるようにすると、これからさらに長い文を読むときに意味のまとまりがわかりやすくて便利です。

接続詞の導く節はどこまで?

長い文を読むときには、接続詞の導く節がどこまでなのか、見極めることが大切です。次の文で見てみましょう。

- ① The trouble is that the train has not arrived yet.
(困ったことに、電車がまだ来ない)
- ② He told me that honesty is the best policy, but I don't believe that.
(彼は正直が得策だと私に言ったが、私は信じてない)

どうでしょうか。節がどこで終わるのかわかりましたか。①の場合は、that 節は文の最後まで続きます。

The trouble is that the train has not arrived yet.

②の場合は、that 節はコンマのところで終わります。

He told me that honesty is the best policy, but I don't believe that.

接続詞のまとめ

ではここで、いろいろな接続詞の種類を紹介しましょう。この章ではこの他にも様々な表現を学習します。

- ① 等位接続詞… and, but, or, for, so, nor, yet など
- ② 従属接続詞

【名詞節をつくる従属接続詞】

that(～ということ) / if(～かどうか) / whether(～かどうか)

【副詞節をつくる従属接続詞】

時(同時) when / as / while

(瞬間) as soon as / the moment / no sooner ~ than ... /
hardly [scarcely] ~ when [before] ...

(前後) after / before / since / until [till]

原因・理由 because / since / as / for

目的 so that ~ / for fear that ~

程度・結果 so ~ that ... / such ~ that ...

条件 if / once / as long as / unless

譲歩 though / although / even if / as long as /

whether or not / no matter how ~ / whoever など

§132 必修 接続詞の種類と働き

300 I like surfing, **but** I am not very good at it.

私はサーフィンが好きだが、あまり上手ではない。

301 We know **that** no one is perfect.

私たちは完璧な人間などいないということを知っている。

302 Someone came to see you **while** you were out.

あなたが出かけて留守のときに、誰かが訪ねてきたよ。

Point 1 接続詞の種類は大きく分けて2つ

- a. 等位接続詞…300 の but のように、語と語、句と句、節と節を文法上対等の関係で結ぶ接続詞。 → p.250, 283 参照
- b. 従属接続詞…301 の that, 302 の while のように、節と節を主と従の関係で結ぶ接続詞。 → p.250, 288 参照

Point 2 接続詞の有無と種類で文を分類する

文は構造上、次の3つに分類される。

1 単文 〈主語+述語動詞〉の組み合わせが1つだけの文。

The Titanic set out on its first voyage in 1912.

S V

(タイタニック号は1912年に初めての航海に出た)

the Titanic(タイタニック号)のように、船の名前には the がつく。

2 重文 2つ以上の節が等位接続詞で結ばれている文(→ 300)。

Some said good-bye and others began to cry.

S V S V

対等の関係

(さよならを言う者もいたし、泣き始める者もいた)

3 複文 2つ以上の節が従属接続詞で結ばれている文(→ 301, 302)。複文では節と節の間に主従の関係があり、〈主節+従属節〉または〈従属節+主節〉の形をとる。

They were asleep when the ship hit the iceberg.

S V S V

主節 従属節(副詞節)

(船が氷山にぶつかったとき、彼らは眠っていた)

CHECK AND EXPRESS 132

()内に適当な1語を入れて、英文を完成しなさい。

- I went to his house, () unfortunately he was out.
- Young men () women began to wear T-shirts in the 1970s.
- Do you know () Ryo Ishikawa is the youngest professional golfer in Japan?

§133 必修 等位接続詞(1) and, but

303 My family **and** I reached the airport an hour early.

私の家族と私は1時間早く空港に着いた。

304 I don't have any brothers **but** I have three sisters.

私に兄弟はいませんが、姉妹が3人います。

Point 1 and 「～と…」 「～そして…」

and は「～と…」 「～そして…」の意味で、語と語、句と句、節と節をつなぐ。303 では my family と I, つまり語と語をつないでいる。

The boys sat on the bench **and** on the ground. [句と句]

(男の子たちはベンチや地面の上に座っていた)

She went shopping **and** I began to work. [節と節]

(彼女は買い物に行き、私は仕事を始めた)

Q参考 and のその他の用法

- 同一の語を繰り返して意味を強める。
She talked on **and** on. (彼女はしゃべり続けた)
- come, go などの後に用いて、不定詞 to の代わりにする。
Come **and** see me tomorrow. (明日遊びにいらっしゃい)
- good and ~, nice and ~ の形で形容詞と結びつき、「たいへん、とても」などの副詞の意味を表す。
I'm good **and** hungry. (お腹がべこべこだ)
That boy looks nice **and** bright. (あの少年はとても賢そうだ)

この場合、good and は [gʊdn], nice and は [naɪsn] と発音する。

Point 2 but 「～だが…」 「～しかし…」

but は「～だが…」 「～しかし…」の意味で、節と節(→ 304)をつなぐ他、語と語、句と句をつなぐのにも用いられる。

The old man was rich **but** unhappy. [語と語]

(その老人は金持だったが、幸せではなかった)

He doesn't live in Osaka **but** in Kobe. [句と句]

(彼は大阪ではなくて、神戸に住んでいる)

unhappy の un- は「～でない」と反対の意味を表す接頭辞。unlucky (アンラッキーな), unkind (不親切な)など。

!注意 Excuse me, but ~.

「すみませんが～」の意味で、but は単につなぎ言葉として用いられる。「しかし」の意味はない。

Excuse me, **but** do you speak English?

(すみませんが、英語をお話しになりますか)

CHECK AND EXPRESS 133

()内に and または but を入れなさい。

- I bought a watermelon () some peaches at the supermarket.
- Excuse me, () is this the way to the city hall?

S134 必修

等位接続詞(2) or, 命令文 + and [or] ...

305 Did you go to Kyoto by train or by car?

京都へは電車で行きましたか、それとも車で行きましたか。

306 Go straight, and you'll see the post office on your left.

まっすぐ行きなさい。すると左手に郵便局が見えます。

Point 1 or 「～か(または)…」

or は「～か(または)…」の意味で、語と語、句と句、節と節をつなぐ。

305 では by train と by car, つまり句と句をつないでいる。

Do you drink tea or coffee?

(紅茶かコーヒーを飲みますか)

〔語と語〕

Is he coming or (is he) not (coming)?

(彼は来るのですか、それとも来ないのですか)

〔節と節〕

!注意 or は「すなわち」と前出の言葉を言いかえる場合にも用いられる。ふつう or の前にコンマを置く。

Sumo, or Japanese wrestling, is popular in Hawaii.

(相撲、すなわち日本式レスリングは、ハワイで人気がある)

Q参考 or のその他の用法

① ~ or so で「～かそこら、約～」の意味を表す。

It will take about an hour or so to reach the summit.

(頂上に着くには1時間かそこらかかるだろう)

② ~ or something [somebody] は「～か何か[誰か]」の意味になる。

Won't you make a sandwich or something?

(サンドイッチが何かつくってくれませんか)

summit は「(山の)頂上」の意味から、国のトップに立つ人や、トップによる会議(サミット)もさす。

Point 2 命令文, + and [or] ...

a. <命令文, + and ...> 「～しなさい、そうすれば…」

306 → If you go straight, you'll see the post office on your left.

b. <命令文, + or ...> 「～しなさい、さもないと…」

Go quickly, or you will miss the bus.

(すぐに行きなさい。でないとバスに乗り遅れるよ)

→ If you don't go quickly, you will miss the bus.

!注意 名詞 + and [or] ...

命令文の代わりに名詞などを用いた形。

One more effort, and you will succeed.

(もう一度努力しなさい。そうすれば成功するよ)

→ If you make one more effort, you will succeed.

Q参考 nor, for, so

それぞれ次の意味を表す。

nor	(…も)また～ない	not, no などの否定語の後に置く。
for	というのは～だから	理由をつけ加えるのに用いられる。
so	それで、そんなわけで	and so も同じ意味。

→ p.365 参照

John can't do it, nor can I, nor can you.

↳ <nor + V + S> と倒置の形になる

(ジョンはそれができないし、私もあなたもできない)

The news must be true, for everyone says so.

(そのニュースは本当にちがいない。みんなそう言うから)

The school is far from my house, so I have to take a bus.

(学校は私の家から遠い。だからバスに乗らなければならない)

so と for は節と節をつなぐのに用いられるが、語(句)を結びつけるのには用いない。

CHECK AND EXPRESS 134

次の状況に合うように、()内の語(句)を並べかえて、英文を完成しなさい。

- 立ち止まらなとトラックにひかれると友人に警告する場合。
(by / you'll be / , or / stop / the truck / hit).
- あたりが暗くなってきたから、彼らは急いで家に帰ったと伝える場合。
(went home / so / dark, / in a hurry / it got / they).
- 先生がそう言っていたから、その知らせが本当であると断定する場合。
(said so / , for / must be / the teacher / true / the news).

What Do You Say? —こんなときなんて言う?

すみません!



この間、友達とショッピングモールに行ったの。3階建てで、いろんなお店があって、シネコンにフードコートやゲームセンターもあって、すごく広い! ほんとに迷子になりそうなくらい広いの。で、トイレに行きたくなったんだけど、どこにあるのかわからなくて…。お店の人に聞いてみようかな? こんなとき、なんて言ったらいいのでしょうか。

- Excuse me, but where is the rest room? (すみません、トイレはどこですか)
- I'm sorry, but where is the rest room?



知らない人に話しかける表現としては、①の Excuse me, but ... が定番です。この場合、謝るわけではないので、I'm sorry とする必要はありません。では、教えてくれた店員さんに対しては、何と言ったらよいと思いますか?

- I'm sorry. (すみません)
- Thank you.

この「すみません」は感謝の気持ちを表す言葉なので、②の Thank you. が正解。I'm sorry. と謝るのは変です。

§ 135 必修

both ~ and ..., either ~ or ... など

307 Both Bob and Jim like Mary. ボブもジムもメアリーのことが好きだ。

308 Either Alice or Betty will come to the party.

アリスがベティーのどちらかがパーティーに来るよ。

309 Shakespeare was **not only** a writer **but also** an actor.

シェークスピアは作家であつたばかりではなく、俳優でもあつた。

Point 1 相関接続詞

both ~ and ... のように、一対の語句が呼応して接続詞の働きをするものを相関接続詞と言う。

Point 2 both A and B

〈both A and B〉は「A も B も(どちらも)」の意味。and は等位接続詞だから、接続されるものは文法上対等でなければならない(→ 307)。

He has been **both** to Greece **and** (to) Italy.

文法上対等な語句

(彼はギリシアとイタリアの両方に行ったことがある)

Greece は [grís] と読む。

Point 3 either A or B

〈either A or B〉は「A か B のどちらか」の意味(→ 308)。

Please take **either** the apple pie **or** the doughnut.

(アップルパイかドーナツかどちらかをお取りください)

doughnut [dóunət] で、gh は読まない。

Point 4 neither A nor B

〈neither A nor B〉は「A も B もどちらも～ない」の意味。

I'm **neither** tall **nor** short. (私は背が高くも低くもない)

Q参考 neither と nor は3つ以上のものを否定する場合にも用いることができ、その場合最後の nor 以外を省略することもある。

Joe can play **neither** baseball, **nor** tennis, **nor** soccer.

(ジョーは野球もテニスもサッカーもできない)

She **neither** ate, drank, **nor** smoked.

(彼女は食べることも飲むことも、タバコを吸うこともしなかった)

Point 5 not only A but (also) B

〈not only A but (also) B〉は「A ばかりでなく B も」の意味を表す(→ 309)。〈B as well as A〉に書きかえることもできる。

309→ Shakespeare was an actor **as well as** a writer.

He **not only** wrote songs **but also** sang them on stage.

(彼は曲をつくつたばかりではなく舞台上でそれをうたった)

Point 6 not A but B

〈not A but B〉は「A ではなくて B」の意味。

She comes **not** from Mexico **but** from Brazil.

(彼女はメキシコではなくてブラジルの出身です)

Point 7 It is true (that) ~ but ...

It is true (that) ~ but ... は「なるほど[確かに]～だが…」の意味を表す。

It is true (that) I saw him **but** we didn't talk.

(確かに彼には会つたが、話はしなかった)



ギモンのタネ 32 not only I but also he(私ばかりでなく彼も)が主語のとき、動詞の形は「私」に合わせる? それとも「彼」に合わせる?

① 〈not only A but (also) B〉や〈B as well as A〉が主語になる場合、意味上 B に重点が置かれているから、B のほうに動詞を一致させる。

Not only I but also **he** objects to the idea.

He as well as I objects to the idea.

(私だけでなく彼もその考えに反対だ)

② 〈either A or B〉や〈neither A nor B〉が主語になる場合、意味上どちらかに重点があるわけではないので、動詞は近い方の主語に一致させるのが原則である。

Either you or I **am** in the wrong.

*略式では are(複数形)も可

(あなたか私のどちらかが間違っている)

Neither Jack nor Betty **has** visited Japan.

*略式では have(複数形)も可

(ジャックもベティーもどちらも日本を訪れたことがない)

➡ 〈not only A but also B〉が主語のとき B に動詞の形を合わせる

CHECK AND EXPRESS 135

下線部が日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

- They didn't come by car () by bicycle. (車でなく自転車で)
- I have () the time () the money for that. (お金も時間も無い)

§ 136 必修

従属接続詞 that

- 310 We know that the world's population is increasing.
世界の人口が増加しつつあるということを我々は知っている。
- 311 The trouble is that the main guest hasn't arrived yet.
困ったことに、主賓がまだ到着していない。
- 312 It is true that the famous musician was shot dead yesterday.
あの有名なミュージシャンが昨日射殺されたことは本当だ。

Point 1 目的語・補語になる that 節

that は「～(する)ということ」の意味で、後に名詞節を導く。that 節は文中で目的語・補語の働きをする。

a. S + V + O (= that 節) (→ 310)

She says that the Thames is cleaner than before.

S V O

(彼女はテムズ川が前よりきれいになっていると言う)

the Thames (テムズ川)のように、川の名前にも the がつく。

b. S + V + IO + DO (= that 節)

She told us that the road was closed.

S V IO DO

(彼女は私たちにその道路が閉鎖されていると教えてくれた)

c. S + V + C (= that 節) (→ 311)

The truth is that I couldn't sleep well last night.

S V C

(実は私は昨日の晩よく眠れなかったのだ)

Q参考 <前置詞+ that>の場合

that 節が前置詞の目的語になることもある。これは、**in that**(～の点で)、**except that**(～以外)などの形に限られる。

Television is harmful **in that** it makes your mind passive.

(テレビは精神を受動的にするという点で有害だ)

The car is very good **except that** it is a little too expensive.

(少し高すぎるということを除けば、その車は大変よい)

Q参考 that 節が名詞と同格の場合

that 節がある特定の名詞に続けて用いられ、「～という…」の意味で、名詞の内容を that 節が具体的に補足説明する用法がある。この that を「同格の that」と呼ぶ。

Is there any *hope* **that** he will get the nomination for president?

(彼が大統領候補に指名される見込みはありますか)

We must not forget the *fact* **that** we made a big mistake.

(私たちは大きな誤りを犯したという事実を忘れてはならない)

→ p.369 参照

Point 2 It is + 形容詞[名詞] + that 節

that 節が文頭に来て、主語になることもある。この形は主語が長すぎるので、ふつうは形式主語の **It** を使って that 節を後にまわす(→ 312)。

That the famous musician was shot dead yesterday is true.

S V C

→ **It** is true **that** the famous musician was shot to death yesterday.

S V C S'(真の主語)

It is natural **that** she should refuse his invitation.

(彼女が彼の招待を断るのは当然だ)

It is a pity **that** he should leave his job.

(彼が仕事をやめるのは残念だ)

pity は「残念なこと」の意味で、名詞である。

Point 3 S + V + it + C + that 節

(S + V + O + C)の文型で目的語が that 節の場合には、形式目的語の **it** を置いて、that 節は後にまわす。

I think **it** necessary **that** he should make a decision.

S V O C O'(真の目的語)

(彼が決断をすることが必要だと思う)

Do you consider **it** fair **that** my boss should treat me like that?

(上司がこのように私を扱うのは正当だと思いますか)

I made **it** clear **that** I wasn't interested in politics.

(私は政治には興味がないとはっきり言った)

Q参考 形式目的語 it を用いた慣用表現

take it for granted that ~ (～を当然のこととみなす), **put it to ... that** ~ (～を…に提案する)などの表現でも、形式目的語 **it** が用いられ、that 節は後にまわされている。

You should not **take it for granted that** he will always help you.

(彼がいつもあなたを助けてくれることを当然だと思っはいけない)

I **put it to you that** our company must seek financial help.

(言っておくが、わが社は財政援助を求めなくてはならない)

CHECK AND EXPRESS 136

日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. お金で何でも買えると思いますか。

Do you think () money can buy everything?

2. 私の印象では、彼女はとても社交的だ。

My impression is () she is very sociable.

S137 必修

It seems that ~ ; be + 形容詞 + that ~

313 It seems that Billy is interested in Japanese.

ビリーは日本語に興味があるようだ。

314 It happened that she met her cousin in the British Museum.

彼女は大英博物館でいとこにたまたま出会った。

315 He was afraid that the dog would come and bite him.

彼はその犬がかみつきに来ることを恐れた。

Point 1 It seems + that 節

It seems [appears] that ~ は「~ のように見える[~ のようだ]」の意味を表す(→ 313)。

It seems (to me) that you are not telling the truth.

(君は本当のことを言っていないようだね)

It appears (to me) that John will win the race.

(ジョンがレースに勝ちそうだ)

Point 2 It happens + that 節

It happens that ~ は「偶然[たまたま]~ する」の意味(→ 314)。

It so happens that ~. のように so がつくこともある。

It (so) happened that Tom saw a famous TV personality at the store. (トムはその店で有名なテレビタレントに偶然会った)

タレント(芸能人)のことを talent とは言わない。talent は「才能、人材」の意味。

Point 3 be + 形容詞 + that 節

形容詞や形容詞化した過去分詞の後に that 節が続く形で、「(~ する, ~ である)ことを…」の意味を表す(→ 315)。この文型では that はよく省略される。

She is very glad (that) you will come.

(彼女はあなたが来られることをとても喜んでいる)

He was surprised (that) his father had sold the farm.

(彼は父が農場を売り払ったことにびっくりした)

I was convinced (that) she was innocent.

(私は彼女が無罪であることを確信した)

〈be + 形容詞[過去分詞] + that ~〉に用いられる語句

glad(喜んで), sure(確信して), surprised(驚いて), afraid(恐れて), proud(誇りに思って), sorry(すまなく思って), certain(確信して), confident(自信のある), delighted(喜んで), assured(確信して), convinced(納得して)など

!注意 〈be + 形容詞〉= 1つの動詞と考える

この文型では、〈be + 形容詞[過去分詞]〉が1つの他動詞と同じ意味を持ち、後の that 節がその目的語の働きをしていると考えるとわかりやすい。

I am sure that she is not telling a lie.

→ I believe that she is not telling a lie.

S V O

(彼女はきつとうそをついていないと思う)

Q参考 句↔ that 節の書きかえ

よく使われるパターンを覚えよう。

① S + V + 前置詞 + 動名詞 ↔ S + V + O (= that 節)

My teacher insisted on my [me] going with her.

→ My teacher insisted that I should go with her.

(先生は私が彼女と一緒に行くように強く求めた)

② It is ~ for ___ to ... ↔ It is ~ + that 節

It was natural for him to be familiar with jazz.

→ It was natural that he was familiar with jazz.

(彼がジャズにくわしいのは当然だった)

③ S + seems [happens] to ~ ↔ It seems [happens] + that 節

Her daughter seems to be happy.

→ It seems that her daughter is happy.

(彼女の娘は幸せそうだ)

④ S + 受動態 + to ~ ↔ It + 受動態 + that 節

He is said to be the greatest violinist ever.

→ It is said that he is the greatest violinist ever.

(彼はいまだかつてないすぐれたバイオリン奏者だと言われている)

⑤ be + 形容詞 + 前置詞 + 動名詞 ↔ be + 形容詞 + that 節

He is afraid of dying.

→ He is afraid that he will die.

(彼は死ぬのを恐れている)

「バイオリン奏者」は violinist, 「ギター奏者」は guitarist, 「ピアニスト」は pianist.

CHECK AND EXPRESS 137

日本語の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- 彼は上手なテニス選手だと言われている。
(is / that / he / a good tennis player / is said / it).
- 彼は東京に住んでいるようだ。
(in Tokyo / that / is living / appears / it / he).
- 彼が成功すると私は確信している。
(succeed / that / am / will / sure / he / I).

S 138 必修

従属接続詞 if, whether

316 I don't know if [whether] he will understand me.

彼が私のことを理解してくれるかどうか分からない。

317 The question is whether she would attend the party.

問題は彼女がパーティーに出席するかどうかだ。

318 It is doubtful whether he will come to school in time.

彼が学校に間に合うかどうかは疑わしい。

Point 1 if, whether 「~かどうか」

接続詞 **if, whether** は「~かどうか」の意味を表し、名詞節を導く (→ 316, 317)。

a. **if** ~ は主に動詞の目的語になる (→ 316)。

b. **whether** ~ は目的語として用いられる (→ 316) 他、主語、補語 (→ 317) になる。~ **or not** を伴うことも多い。

Whether she will agree or not is not clear. [主語]

S V C

(彼女が賛成するかどうかは明らかではない)

Q参考 **whether** を **if** で代用できない場合

① 主語・補語になるとき

Whether he will help us or not is doubtful. [× *If he will* ~]

(彼が我々を助けてくれるかどうかは疑わしい)

ただし口語では、形式主語 **It** を用いた文の真主語になる場合は **if** で代用できる。

It is doubtful whether [if] he will help us or not. [口語]

形式主語

真の主語

whether or not ~ の場合は **if** で代用できない。

→ It is doubtful whether or not he will help us. [× *if or not* ~]

② 前置詞の目的語になるとき

Our success depends on whether he will help us. [× *on if* ~]

(我々の成功は彼が助けてくれるかどうかにかかっている)

③ 後に不定詞が来るとき

He cannot decide whether to help us or not. [× *if to* ~]

(彼は我々を助けるべきかどうか決心がつかない)

whether [(h)wédəə] は「~かどうか」、
weather [wédəə] は「天気」。



ギモンのタネ (33) that 節には「同格」の用法があるが、if, whether 節にはない？

doubt (疑い)、**question** (問題) などの名詞とは、同格に **whether** 節を使うことができるが、**if** 節はまれにしか使われない。

There is *some doubt whether* [まれ *if*] he will succeed as a singer.

(彼が歌手として成功するかどうか少し疑問がある[疑わしい])

また、**whether [if]** 節が使われるのは肯定文の場合で、否定文・疑問文の場合は **that** 節が使われる。

There is *no doubt that* he will succeed as a singer. [否定文]

(彼が歌手として成功することによって少しも疑問がない)

➔ 名詞の **doubt, question** と同格で使うこともある

Point 2 It is + 形容詞[名詞] + whether ~

(**It is** + 形容詞[名詞] + **whether** ~) の **It** は形式主語で、**whether** 以下をさす (→ 318)。

It is your decision whether you go or stay.

形式主語

真の主語

(行くかとどまるかは君の決断することだ)

It is not important whether we will win the game or not.

(私たちがゲームに勝つかどうかは重要ではない)

!注意 **S + V + it + C + whether** ~

形式目的語 **it** を使った (S + V + it + C + **whether** ~) の形もある。it は **whether** 以下をさす。

The policeman thought it doubtful whether she was honest.

(警察官は彼女が正直かどうか疑わしいと思った)

!注意 **whether** ~ が「~であろうと」の意味を表す場合は副詞節。

➔ p.301 参照

CHECK AND EXPRESS 138

下線部が日本語の意味を表すように、() 内の語(句)を並べかえなさい。

1. He asked Manjiro (he / if / to go / would like / to America).

(アメリカへ行きたいと思っているかどうか)

2. They often ask me (can / she / drive / a truck / whether).

(彼女がトラックを運転できるかどうか)

3. You should study hard (like / you / whether / or / it) not.

(好き嫌いにかかわらず)

S139 必修

時を表す副詞節

319 He felt happy **when** his mother held him tight in her arms.

彼は母親にきつく抱きしめられたときうれしかった。

320 **As soon as** he came home, he began to help his mother.

彼は家に帰るとすぐに、お母さんを手伝い始めた。

Point 1 when, while, as

when 「～するとき」(→ 319), **while** 「～する間に」, **as** 「～するとき、～しながら」の意味を表す。

When Jackie entered the room, the boys were chatting.

(ジャッキーが部屋に入ったとき、少年たちはおしゃべりしていた)

He is always listening to the radio **while** he is walking.

(彼は歩いている間いつもラジオを聞いている)

As I was talking on the phone, my mother complained.

(私が電話していると、母が文句を言った)

!注意 時を表す副詞節の時制

時を表す副詞節の中では、未来(完了)を表すのに現在(完了)形を使う。

→ p. 87 参照

We'll build a big house **when** we become rich.

(金持ちになったら大きな家を建てるつもりだ)

I will help you **when** I have finished my work.

(仕事が終わったらあなたの手助けをします)

Point 2 after, before, since, until

after 「～した後に」, **before** 「～する前に」, **since** 「～以来」, **until [till]** 「～まで」の意味を表す。

He had to work hard even **after** it got dark.

(暗くなった後も彼はしっかり働かなければならなかった)

You have to get home **before** it gets dark.

(暗くなる前に家に帰って来なさい)

I have not heard from him **since** he went to America.

(アメリカに行って以来彼からは便りが無い)

Let's wait here **until [till]** the sun rises.

(太陽が昇るまでここで待とう)

太陽が「昇る」は rise, 「沈む」は set.

Point 3 by the time など

by the time ～ 「～するときまでには」, **every time** ～ 「～するごとに」の意味を表す。

By the time you get there, it will be warm.

(あなたがそこに着くまでに、暖かくなるだろう)

Every time I meet her, she smiles at me.

(彼女に会うといつも、彼女は僕にほほえみかける)

Point 4 as soon as など

as soon as ～は「～するとすぐに」の意味(→ 320)。 **no sooner** ～ **than ...**, **scarcely [hardly]** ～ **before [when]** ... も同様の意味を表す。

As soon as we entered the room, the bell rang.

= We had **no sooner** entered the room **than** the bell rang.

= We had

scarcely	} entered the room	{	before	} the bell rang.
			when	

(私たちが部屋に入るとすぐに、ベルが鳴った)

!注意 **no sooner** ～ **than ...**, **scarcely [hardly]** ～ **before [when]** ... の表現は文語的で、過去の事柄を述べる場合に使われることが多い。**no sooner**, **scarcely**, **hardly** を文頭に置くと、主語と動詞が倒置されて(**had** + 主語 + 過去分詞...)の語順になる。

→ **No sooner** had we entered the room **than** the bell rang.

Scarcely	} had we entered the room	{	before	} the bell rang.
			when	

Q参考 **the moment**, **the instant**, **directly** など本来接続詞でないものが、「～するとすぐに」の意味で時を表す接続詞として用いられることがある。

moment, instant は「瞬間」の意味。

The moment

The instant } he saw the policeman, he ran away.

Directly

→ **On seeing** the policeman, he ran away.

(彼は警察官を見るとすぐに逃げ出した)

Q参考 他に **the first time** (初めて～したときに), **(the) next time** (今度～するとき), **(the) last time** (この前～したときに)なども時を表す接続詞として用いられる。

The first time I saw him, he was a senior high school student.

(初めて会ったとき、彼は高校生だった)

(The) Next time you come, please bring me some new CDs.

(今度来るとき、新しいCDを持って来てください)

(The) Last time he visited my house, he fell down the stairs.

(この前彼が私の家に来たとき、彼は階段から落ちた)

CHECK AND EXPRESS 139

日本語の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- 彼女は自分の仕事を終わるとすぐに帰宅した。
(finished / as / her work / as / soon / she), she went home.
- 朝食を食べているとき、電話が鳴った。
(was having / when / breakfast / the telephone / I) rang.
- 家を出るとすぐに雨が降り始めた。
Scarcely (began to rain / before / left home / I / had / it).

表現BOX (17) before, since, until を用いた表現

次のような表現に注意しよう。

- ① **before** 「～しないうちに」
Finish your assignments **before** the summer vacation is over.
(夏休みが終わらないうちに宿題をすませなさい)
- ② **It is [was, will be] ~ before ...** 「～かかってようやく…(する[した, するだろう])」
It was four years before I saw the little girl in Mongolia again.
(4年かかってやっと再びモンゴルでその少女に会えた)
- ③ **It was not [will not be] long before ~**
「長くかからないうちに～(した[する]), まもなく～(した[する])」
It was not long before he arrived.
(まもなく彼は到着した)
It will not be long before you realize your mistakes.
(あなたはすぐに自分の誤りに気づくだろう)
- ④ **before** を距離について用いる場合 「～してようやく…」
I had gone a long way **before** I noticed I didn't have my umbrella.
(ずいぶん遠くまで行ってから、私はかさがないのに気がついた)
- ⑤ **not ~ until [till] ...** 「…してはじめて～する」
I hadn't heard the news **until** I saw it on TV.
(テレビを見てはじめてそのニュースを知った)
- ⑥ **until [till] (at last) ~** 「そしてついに～」
I waited and waited, **till (at last)** the bus arrived.
(私は待ちに待った、そしてついにバスが到着した)
*この文型は until [till] の前によくコンマが置かれる。
- ⑦ **It has been [is] ~ since ...** 「…してから～になる」
It has been [is] ten years since my grandfather died.
(私のおじいさんが亡くなって10年になる)
= Ten years have passed since my grandfather died.
= My grandfather has been dead for ten years.
= My grandfather died ten years ago.



S140 必修

原因・理由を表す副詞節

321 We couldn't go on a picnic **because** it was raining.

雨が降っていたので、ピクニックに行くことができなかった。

322 Now (that) I'm eighteen, I have to think about my future.

私はもう18歳になったのだから、将来のことを考えなくちゃ。

Point 1 because

because は「～だから」の意味で、原因・理由を表す(→ 321)。

注意 <because of + 名詞>で「～だから」と理由を表す。

He was late **because of** the heavy traffic.

(交通量が多かったので彼は遅刻した)

注意 **not ~ because ...** は「…だからといって～ない」の意味になる。

Don't laugh at him because he made a mistake.

(彼がミスをしたからといって笑ってはいけません)

not ~ because ... が「…だから～ない」の意味を表すこともある。この場合にはコンマを **because** の前につけることができる。

I didn't answer your letter, **because** I was busy at the time.

(君の手紙に返事を出さなかった。そのときは忙しかったから)

Point 2 since, as

「～なので」の意味を表す。since, as には他に時を表す用法などがあり、原因・理由を表す語としては **because** のほうが一般的。いずれも文頭に來ることが多く、また Why ~? に対する答えの文には用いられない。

Since we live near the sea, we can often go swimming.

(海の近くに住んでいるので、しょっちゅう泳ぎに行ける)

As comic books are fun, many children read them.

(漫画の本はおもしろいので、たくさん子どもたちが読む)

Point 3 now (that) など

now that ~ は「(今や)～なので」、**seeing that** ~ は「～なので」の意味を表す(→ 322)。that はしばしば省略される。

Seeing (that) he is a child, he may have got lost on the way.

(彼は子どもだから、道に迷ったのかもしれない)

Now (that) our teacher is gone, we can talk freely.

(先生が行ってしまったので、私たちは自由に話せる)

CHECK AND EXPRESS 140

下線部が日本語の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. () they didn't have much money, they couldn't go out. (～なので)
2. Now () Jack had finished the job, he looked happy. (～したので)

heavy は「重い」の他、「(雨などが)激しい」、「(交通量が多い)」の意味も表す。
heavy rain (激しい雨)

S 141 必修

条件・制限を表す副詞節

323 If it snows, we can have a snowball fight. もし雪が降ったら、雪合戦ができるよ。

324 You will be late unless you leave now. 今出発しなければ遅刻しますよ。

Point 1 if

if は「もし～ならば」の意味を表す(→ 323)。

Q参考 If ~ at all

if 節に at all (強調語句) をそえて、「いやしくも[仮にも]～なら」の意味を表すこともある。

If you work at all, you should work with a will.

(いやしくも働くのなら、熱意を込めて働くべきだ)

この will は「意志」の意味。with a will で「意志を持って、真剣に」。

Point 2 unless

unless は「～しない限り」の意味を表す(→ 324)。if ... not で書きかえられることが多い。

324+ You will be late if you don't leave now.

注意 unless は「～の場合を除いて」と唯一の例外条件を示すため、if ... not を unless で書きかえられない場合がある。

I'll be surprised if he doesn't pass the exam.

(もし彼が試験に通らなかったとしたら驚きだ)

*unless he passes the exam とすると、「彼が試験に通る場合を除いて驚く = 私が驚かないのは、彼が試験に通ったときだけ」となり不適切。

Point 3 in case

in case は「もし～ならば」の意味を表す。

In case you can't go, let's make it another day.

(君が行けないのなら、別の日にしましょう)

「～するといけないから」と目的の意味も表す。

Take your umbrella with you in case it rains [should rain].

(雨が降るといけないから、かさを持って行きなさい)

注意 in case of ~ は「～の場合は」「～に備えて」の意味で、後に名詞(句)が来る。

In case of fire, break glass and press button.

(火災の際はガラスを破ってボタンを押してください)

→ p. 321 参照

Point 4 as long as, as far as

as long as ~, as far as ~ は「～する限り」を表す。as long as は時間的な限界や条件を、as far as は空間や程度あるいは範囲の限界を示す。

I will go on painting as long as I live.

(生きている限り私は絵を描き続けます)

You may go out, as long as you promise to be back before midnight.

(夜の12時前に帰って来ると約束するのなら、外出してもよろしい)

He hasn't been here as far as I know.

(私の知る限りでは彼はここに来ていない)

mid- は「真ん中の」の意味。midnight は「真夜中(夜の12時)」、midsummer は「真夏」。

Q参考 条件を表すその他の接続詞

動詞が接続詞化した suppose [supposing] (that) (もし～ならば)、

providing [provided] (that) (もし～ならば)、assuming (that) (～と仮定すると)、considering (that) (～を考えれば)、given (that) (～を考慮に入ると) や on condition (that) (～という条件で、～ならば)、once (いったん～すれば) などを使っても「条件」が表せる。

Suppose (that) it rains, shall we stay here?

(もし雨ならここにいきましょうか)

I will go hiking provided (that) it is fine tomorrow.

(明日天気がよければ、私はハイキングに行きます)

Assuming (that) the weather is fine, I will take them to the Tokyo Skytree.

(天気がよかったら、彼らを東京スカイツリーに連れていこう)

Considering [Given] (that) he is a rookie, he did quite well.

(新人であることを考えれば、彼はとてもよくやった)

I agreed to help on condition (that) I got half of the profit.

(利益の半分をもらうという条件で、私は援助することに同意した)

Once he starts talking, he'll never stop.

(彼はいったんしゃべり始めると止まらない)

CHECK AND EXPRESS 141

下線部が日本語の意味を表すように、() 内に適当な1語を入れなさい。

- () you take this medicine, you'll feel better. (～するならば)
- You'll catch a cold () you put on your coat. (～しなければ)
- As () as the eye can see, there is no cloud in the sky. (見渡す限り)

§142 必修

譲歩を表す副詞節

325 Helen and I became close friends, **though** we had broken up once.

ヘレンとは一度仲たがいがいたけど、私たちは親友になった。

326 **Even if** it rains, the game will go ahead.

たとえ雨が降ってもゲームは続行される。

Point 1 **though** [although]

though, although はともに「～だけれども」と譲歩の意味を表す(→ 325)。

Although it may sound strange, I have an uncle who is younger than me [I am].

(奇妙に聞こえるかもしれないが、私には年下のおじがいる)

though を強調して **even though** とすることもある。

She didn't say sorry **even though** she knew she was wrong.

(彼女は自分が悪いことがわかっていただけなのに、ごめんなさいと言わなかった)

Point 2 **even if**

even if は「たとえ～しても」を表す(→ 326)。

Even if you promise not to tell a lie, I won't believe you.

(たとえ君がうそをつかないと約束しても、私は君を信じない)

Q参考 「たとえ～でも」を **the + 最上級** で表すこともある。

The fastest boy in my class cannot beat her at running.

(クラスで一番速い男の子でも競走で彼女に勝てない)

→ p.233 参照

Point 3 形容詞[副詞] + **as** ~

接続詞 **as** の前に、形容詞または副詞が置かれた形。やや文語的な表現である。

Late as it was [= **Though** it was late], I decided to visit my friend.

形容詞

(遅かったが、私は友人を訪ねることに決めた)

!注意 「Sは～なので」と理由を表すこともある。

Careless as she is [= **As** she is careless], she made several mistakes.

(彼女は不注意なので、いくつかミスをした)

Point 4 **whether** ~ or ...

whether ~ or ... は「～であろうと…であろうと」の意味。**whether** ~ or **not** は「～であろうとなかろうと」という意味になる。

Whether she is sick **or** well, she is always cheerful.

(彼女は病気でであろうと健康であろうと、いつも明るい)

whether ~ or ... が名詞節になる場合については

→ p.292 参照

Whether you take part **or not**, the result will be the same.

(君が参加してもしなくても、結果は同じだろう)

!注意 **whether or not** ~

or not が **whether** の直後に来ても意味は同じ。

→ **Whether or not** you take part, the result will be the same.

Q参考 **whether** や主語を省略した表現

譲歩を表す表現には、**rain or shine**(晴雨に関わらず)、**sooner or later**(遅かれ早かれ)、**like it or not**(好き嫌いにかかわらず)、**believe it or not**(まさかと思うだろうが)など、**whether** や主語を省略して用いる慣用的なものもある。

Rain or shine, I will go on a hike tomorrow.

(雨でも晴れでも、明日私はハイキングに行く予定です)

Oil will run out **sooner or later**.

(遅かれ早かれ、石油はなくなるだろう)

Like it or not, the world situation is changing now.

(好むと好まざるとにかかわらず、今や世界の情勢は変化しつつある)

Q参考 その他の譲歩を表す副詞節

① **while** や **when** の導く節

While there are some mistakes, I think your paper is good.

(いくつかの間違いはあるが、君の論文はよくできていると思います)

The waiter brought me beer **when** I asked for wine.

(ワインを注文したのに、ウェイターはビールを持って来た)

〈~, **while** ...〉の語順で主節の後に用いると、**while** 節は「ところが[一方では]~」と対比の意味を表すので注意。

Some people are happy, **while** others are unhappy.

(幸せな人もいれば、不幸せな人もいる)

② 命令形の動詞[原形の動詞]の導く節

固定化した文語的な表現。

Come what may, I'm ready for it.

(何が起ころうと、私は覚悟ができています)

= **No matter** what may come, I'm ready for it.

Be it ever so ordinary, her story is still very interesting.

(どんなに平凡であっても、彼女の小説はそれでもとてもおもしろい)

= **No matter** how ordinary it may be, her story is still very interesting.

paper は「紙」の他、「新聞、書類、論文」などもさす。

CHECK AND EXPRESS 142

()内に適当な接続詞を入れて、英文を完成しなさい。

1. Rich () he is, he works very hard.
2. You must do your homework, () you like it or not.
3. Even () you are hungry, you mustn't eat anything before supper.

S143 必修

目的・結果・様態を表す副詞節

327 I got up early **so that** I could see the morning star, Venus.

私は明けの明星(金星)を見るために朝早く起きた。

328 The air was **so** clear **that** the Milky Way looked beautiful last night.

昨夜は空気がとても澄んでいたため、天の川が美しく見えた。

Point 1 目的を表す接続詞

目的を表す接続詞には次のようなものがある(→ 327)。

so that ~ may [can, will] ...	} (...するように)
in order that ~ may ...	
lest ~ should ... / in case ~ (should) ...	} (...しないように, ...にそなえて)
for fear (that) ~ should [might] ...	

I have turned on the heating **so (that)** the room **will** be warm when I return.

(帰ったときに部屋が暖かのように、私は暖房のスイッチを入れておいた)

【注意】 口語では so that ~ の that は省略されることがある。

We should study history **in order that** we **may** not repeat the errors of the past.

(私たちは過去の過ちを繰り返さないために歴史を勉強すべきだ)

I will take a flashlight along **in case** I lose my way.

(道に迷った場合にそなえて、懐中電灯を持って行こう)

He ran away **lest [for fear]** he **should** be seen.

(彼は見られないように逃げた)

【注意】 **lest ~ should** は古い文語的な表現で、一般的には同じ意味のことを **so that ~ may not** を使って表現できる。

→ He ran away **so that** he **might not** be seen.

Point 2 結果を表す接続詞

結果を表す接続詞には次のようなものがある(→ 328)。

so ~ that ... / such ~ that ... (とても~なので...), ..., so that ~ (...それで~)

so の後には形容詞または副詞、such の後には(形容詞+名詞)が来るのがふつう。

The lock was **so** well-made **that** no one could open the gate.

形容詞

(そのカギはとてもうまくつくられていたので、誰もその門を開けることができなかった)

lock は「カギ、ロック」、
rock は「岩」。

He was **such** a nice boy **that** everyone liked him.

a + 形容詞 + 名詞

(彼は非常にすてきな少年だったから、誰もが彼を好きだった)

結果を表す(..., **so that** ~)は so の前にコンマがある。目的を表す副詞節と区別しよう。that は口語では省略される。

It started raining suddenly, **so (that)** I got wet. [結果]

(突然雨が降り出した。それでぬれてしまった)

Explain it **so that** we can all understand it. [目的]

(私たちがみんなが理解できるように、それを説明しなさい)

【参考】 **such that** ~ 「大変な[すごい]ものなので~」

この接続詞も結果を表して、**such = so great** と解釈できる。強調のために such は文頭にも置くことができ、その場合は倒置が起こる。

His ability is **such that** he can cope with anything.

= **Such** is his ability **that** he can cope with anything.

(彼の能力はすごいので、何にでも対応できる)

Point 3 様態を表す接続詞

a. as 「~のように」、as ~, so ... 「~するように...」

Do as I do.

(私がするようにしなさい)

See things as they are.

(物事があるがままに見なさい)

As rust eats iron, **so** care eats the heart.

(さびが鉄を侵食するように、気苦労は人の心を侵食する)

口語では、like (~のように)を用いて様態を表すこともあり、また **the way** も接続詞的に as や like と同様に用いられる。

She can't cook **like** you do.

(彼女は君のように料理ができない)

Please do it **the way** I tell you to.

(私の言うようにしてください)

b. as if [though] 「まるで~のように」

→ p.314 参照

They sat listening to the music **as if [though]** they were in a dream.

(彼らはまるで夢の中にいるように音楽を聞きながら座っていた)

CHECK AND EXPRESS 143

2文がほぼ同じ意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. This coffee is very hot. I can't drink it.

This coffee is () hot () I can't drink it.

2. He is working very hard in order to pass the exam.

He is working very hard () () he () pass the exam.

♪ 声に出して読みたい英文 ⑥

1963年8月28日、Martin Luther King Jr. は、アメリカ合衆国ワシントンDCのリンカーン記念館前で、人種差別の撤廃を訴えるスピーチをし、人々の共感を呼んだ。彼のスピーチには「I have a dream that ...」(私は〜という夢を持っている)が繰り返し使われ、非常に印象的である。

I have a dream **that** one day on the red hills of Georgia the sons of former slaves and the sons of former slave owners will be able to sit down together at the table of brotherhood.*

I have a dream **that** one day even the state of Mississippi, a state sweltering* with the heat of injustice,* sweltering with the heat of oppression,* will be transformed* into an oasis of freedom and justice.

I have a dream **that** my four little children will one day live in a nation where they will not be judged by the color of their skin but by the content of their character.

I have a dream today.

I have a dream **that** one day down in Alabama, with its vicious racists, with its governor having his lips dripping with the words of interposition* and nullification* — one day right there in Alabama little black boys and black girls will be able to join hands with little white boys and white girls as sisters and brothers.

I have a dream today.



マーティン・ルーサー・キング Jr. ▶

注 brotherhood 兄弟愛 swelter 暑さで苦しむ injustice 不当行為
oppression 圧制 transform 変える interposition 州権優位説
nullification 連邦法適用拒否論

第13章 仮定法

イメージをつかもう

あり得ないことを想像してみよう

- 1 テレビがなかったら、情報にうとくなるだろう。
- 2 靴がなかったら、石ころで足をけがするだろう。
- 3 学校がなかったら、友達がなくなるだろう。

テレビ、靴、学校は現実には存在しています。そのような現存するものが、仮になかったらと想定するのが仮定法です。

現実離れた内容を表すには、現実離れた形を使う

頭の中で想像した、現実離れた内容を表そうと思ったら、その形もまた、ふつうとはちょっと変わった形にしなければなりません。ここでポイントになるのが動詞の形。仮定法の文は、ふつうの文とは動詞の形(時制)が違います。現実離れたことを証明するようなものです。

では、どんな形を使うのでしょうか。「もし私が政治家なら、世界を変えることができるんだけど」を英語で表すと…

If I **were** a politician, I **could change** the world.

過去形 過去形の助動詞+原形

そう、仮定しているのは現在のことなのに、動詞は過去形を使うのです。しかも主語がIなのに、wasではなくwere。助動詞にもcouldと過去形が使われています。要するに、仮定法では時制が1段階過去にずれるのです。

もし仮定するのが過去のことだったら、過去をもう1段階過去にずらします。「もしあなたの電話番号を知っていたら、電話したんだけど」

If I **had known** your phone number, I **would have called** you.

過去完了形 過去形の助動詞+完了形